

# 表現活動の楽しさ

## ～豊かな感性を育む援助の在り方～

日時：平成29年6月9日(金) 場所：福祉人材研修センター

【研修講師】 鳥取県立博物館 美術振興課専門員 佐藤 真菜 氏  
山本 亮 氏

### 【ねらい】

講義や実技研修を通して、子どもたちの豊かな創造性を育むための表現活動や援助の在り方について学ぶ。

### 【研修の様子】

★講義 <佐藤真菜氏>

#### 1 「表現活動」とは

色や形、言葉や音、出来事との出会いの中で、感じたことを自分なりに表現すること。また、それを行き来すること。そして、「豊かな感性を育む援助」とは、色や形、言葉や音、出来事との豊かな出会いの場を生活の中に作り出していくこと。

#### 2 表現活動で大切にしたいこと

- ① **子どもの声を聴く** … 子どもたちが何に心を動かしているのか、**子どもに寄り添うようにして活動**をみる。
- ② **活動に結果を求めない** … **大人がイメージしたゴールへ誘導しない**。表現活動の中で子どもは感性や表現のスキルを磨いている。
- ③ **子どもと外界を繋ぐ** … 子どもたちの世界を広げる**豊かな出会いの場をつくる**。
- ④ **まずは自分でやってみる** … **どんなときにわくわくし、どんなことを発見したか**、自分が試して楽しいと思った活動をする。
- ⑤ **子どもたちの「ころ」と「ちから」を信じる** … **子どもたちの中にあるものを引き出す**。



こんなきれいな色、見たことない！



お互いに影響し合いながら、自分なりの表現を楽しむ。



### ★演習 「まずは自分でやってみる」 <佐藤真菜氏・山本亮氏>

グループごとにテーマを決めます。農業用ビニールシートに半透明の折り紙やテープを貼りつけて、テーマに沿った表現をしていきます。膨らんだときをイメージしてくださいね。



トンネルの中に入って鑑賞。自分たちが作って貼った模様に、思わず触りたくなります。

わあっ、きれい。

お互いにイメージを出し合いながら、夢中になって取り組んでおられました。



### 【参加者の感想】

- ◇ 子どもの表現と言いながら、「誰かに見せるもの」を意識していた自分に気付いた。「やりたい」「すごい」「楽しい」という子どもたちの気持ちを大切に表現活動や保育をしたいと思った。
- ◇ 表現活動には、コミュニケーション力を育む力があるということ学んだ。表現活動を通して生まれてくる子どもたちの声をしっかりと感じ、子どもたちの思いを感じ取っていきたくと思った。
- ◇ つい「こうしてみたら？」と、きれいな作品へと導きがちだが、子どもが「やった」「満足した」と自分なりにやり切れたと思うことが大切だと改めて感じた。同じような大きなビニールは無理だが、身近なビニール袋や素材でも取り組んでみたい。
- ◇ 演習では、迷いながらもやっていくうちに、「こうしたらどうなるかな？」と次々に考えが浮かんできた。子どもたちもこんな気持ちで表現活動を楽しんでいるんだと感じた。のびのびと自由に表現することがいかに大切か身をもって学ぶことができた。

遊びを通した楽しい表現活動に取り組みましょう。

